

兵庫県バイオマス活用推進大会

兵庫県では、再生可能な生物由来の有機性資源（バイオマス）について、エネルギー化や肥料化などの利活用を総合的に進めることにより「廃棄物ゼロ」をめざす、「『農』のゼロエミッション」を推進しています。

この度、県内で先導的にバイオマスを利活用している取組の紹介などを行うオンラインセミナー「兵庫県バイオマス活用推進大会」を開催します。

今回は、家畜ふん尿などをエネルギーとして活用する過程で発生する副産物（消化液）を肥料として栽培した山田錦（酒米）とこれを原料に日本酒を醸造する取組を紹介しします。さらに、バイオマスの利活用からつながる循環型社会の形成や地域の活性化について考えていきます。

ご関心をお持ちの多くの皆様のご参加をお待ちしています。

※新型コロナウイルスの影響で内容を変更する場合があります。



ひょうごバイオマスecoモデル ロゴマーク

1 日時 令和3年4月26日（月） 14:00～16:00

2 方法 オンライン配信

3 内容

(1) 令和2年度「ひょうごバイオマスecoモデル」取組事例発表

①嫌気性微生物群を利用した食品工場排水の小規模メタンガス発電

株式会社マルヤナギ小倉屋

②地域産木材のオガ粉によるペレット製造・ペレットストーブ普及事業

株式会社しそこの森の木

(2) 講演

①「バイオガスと消化液 牧場における資源循環の形」

講師 井原 一高氏 神戸大学農学研究科准教授

②「消化液を利用した『地エネの酒 for SDGs プロジェクト』」

コーディネーター：辻本 一好氏（神戸新聞社経営企画部専任部長 編集委員）

パネリスト：田中 吉典氏（豊倉町営農組合（加西市））

名古屋 敦氏（株式会社ten（加西市））

中西 重喜氏（NPO法人都市型農業を考える会（神戸市））

岡田 洋一氏（岡田本家（加古川市））

4 参加費 無料（先着100名）

5 申込み（お申し込みいただいた方に当日までにメールにて参加用URLをご連絡します。）

(1) 下記の申込みフォームからお申し込みをお願いいたします。

<https://www.shinsei.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/dform.do?acs=biomass>

スマートフォンからの場合は右のQRコードを読み取ってください。



(2) メール・FAXの場合は、「兵庫県バイオマス活用推進大会参加希望」と明記の上、

住所・氏名・連絡先電話番号・メールアドレスを記載し、下記あてにお申し込みください。

E-mail shohiryutsu@pref.hyogo.lg.jp FAX 078-362-4276

6 申込期限 令和3年4月22日（木）

7 主催 兵庫県 共催 地エネと環境の地域デザイン協議会（事務局：神戸新聞社）

【問合せ先】 兵庫県農政環境部農政企画局消費流通課 食の安全・ゼロエミッション班（澤田、近谷）

電話 078-362-9223 FAX 078-362-4276 E-mail shohiryutsu@pref.hyogo.lg.jp